# 平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月30日


上場会社名　スミダコーポレーション株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6817　URL　http://www.sumida.com
代表者　(役職名) 代表執行役CEO　(氏名) 八幡　滋行
問合せ先責任者 (役職名) 代表執行役CFO　(氏名) 本多　慶行　TEL 03-3272-7100

四半期報告書提出予定日　平成24年8月10日　配当支払開始予定日　平成24年8月23日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年12月期第2四半期 | 25,721 | △5.2 | 750 | △41.4 | 373 | △69.1 | 126 | △81.8 |
| 23年12月期第2四半期 | 27,140 | 0.5 | 1,279 | △38.0 | 1,208 | △2.2 | 691 | △23.7 |

(注)包括利益　24年12月期第2四半期　411百万円　(△70.5%)　23年12月期第2四半期　1,394百万円　(—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年12月期第2四半期 | 6.56 | — |
| 23年12月期第2四半期 | 35.99 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 24年12月期第2四半期 | 45,939 | 7,530 | 15.2 | 363.29 |
| 23年12月期 | 47,497 | 7,186 | 14.1 | 348.92 |

(参考) 自己資本　24年12月期第2四半期　6,979百万円　23年12月期　6,703百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年12月期 | 7.00 | 7.00 | 6.00 | 0.00 | 20.00 |
| 24年12月期 | 5.00 | 5.00 | | | |
| 24年12月期(予想) | | | 5.00 | 5.00 | 20.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年 1月 1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 52,100 | △1.2 | 1,900 | △10.0 | 1,224 | △5.4 | 665 | 33.9 | 34.61 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料3ページ 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧下さい。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 24年12月期2Q | 19,944,317 株 | 23年12月期 | 19,944,317 株 |
| ② 期末自己株式数 | 24年12月期2Q | 732,337 株 | 23年12月期 | 732,085 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 24年12月期2Q | 19,212,073 株 | 23年12月期2Q | 19,212,343 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料は、当社の評価を行うための参考資料となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承下さい。
当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時点における一定の前提に基づくものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(当社は、平成24年8月2日(木)に機関投資家及びアナリスト向け説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。)

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9
４．補足情報 …… 10
設備投資、減価償却費、研究開発費の推移 …… 10

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### （１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間は債務危機を背景に減速する欧州経済に加え、米国経済も回復の勢いが鈍化し、また、中国等新興国の経済成長に鈍化傾向が見られるなど世界経済の一層の減速を懸念させる要因が散見されました。

電子部品業界を見ますと、スマートフォン、タブレット型端末向け需要は引き続き堅調でありましたが、家電製品関連では薄型テレビの回復は見られず、また、Windows８対応ＰＣやUltrabook等の新製品の登場前の買い控えと景気減速が重なり、ＰＣの需要は調整が続きました。インダストリー分野向け需要も伸び悩んだものの、車載関連需要は欧州、日本および米国市場とも堅調に推移しました。

こうした中、当社グループでは、昨年から引き続き世界中に広がるスミダグループ会社の事業推進の一体化を進め、グローバルな観点で開発・生産・販売等の全ての分野におけるシナジーの実現を推進しました。また、労務費の抑制や製造経費の圧縮等製造現場の効率的運営を進めながら生産体制の強化を進めました。

当第２四半期連結累計期間の売上高は欧州を中心に車載関連が堅調であったものの、スマートフォン、タブレット型端末を除く家電製品関連が低調であったこと、インダストリー分野が伸び悩んだことに加え、円高/米ドル安・ユーロ安の進行もあり、前年同期比5.2％減の25,721百万円となりました。コスト削減効果で第２四半期連結会計期間の営業利益率は第１四半期連結会計期間と比べて改善しましたが、減収や為替の影響もあり、第２四半期連結累計期間の営業利益は前年同期比41.4%減の750百万円となりました。また、前年同期は為替差益を計上していたこともあり、経常利益は同69.1%減の373百万円、四半期純利益は同81.8%減の126百万円となりました。

（報告セグメントの状況）

当第２四半期連結累計期間における報告セグメントの状況は次のとおりであります。

①　アジア・パシフィック事業

アジア・パシフィック事業の売上高は、車載関連は堅調であったものの、家電製品関連の伸び悩みと円高の影響で前年同期比1.2％減の16,848百万円となりました。営業利益は同△19.3％減の1,183百万円となりました。

②　ＥＵ事業

ＥＵ事業の売上高は、車載関連が順調に伸びましたが、家電製品関連、インダストリー分野が低調であったことと円高/ユーロ安進行の影響により、前年同期比12.0%減の8,872百万円となりました。営業利益は同18.1%減の713百万円となりました。

### （２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産は45,939百万円となりました。受取手形及び売掛金は増加したものの、現金及び預金、商品及び製品が減少したことなどにより流動資産が2,037百万円減少し、恒常的な設備投資等により固定資産が460百万円増加しました。これにより、当第２四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末比1,558百万円減少しております。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債は38,408百万円となりました。社債が1,650百万円、長期借入金が1,208百万円増加したものの、短期借入金が3,897百万円減少したこと等から、前連結会計年度末比1,902百万円減少しております。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末の純資産は7,530百万円となりました。四半期純利益126百万円を計上したこと、主に円高が進んだため為替換算調整勘定の純資産の部からの控除額が前連結会計年度末比243百万円減少したこと等により、344百万円増加しております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の14.1％から15.2％となり、１株当たり純資産額は348円92銭から363円29銭となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は前連結会計年度末比2,374百万円減少し、4,477百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は1,245百万円（前第２四半期連結累計期間は108百万円の収入）となりました。売上債権の増加により687百万円資金流出があったものの、たな卸資産の減少により649百万円、減価償却費により1,145百万円等の資金流入があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は1,208百万円（前第２四半期連結累計期間は1,160百万円の支出）となりました。有形固定資産の売却により475百万円等の流入があったものの、有形固定資産の取得による1,582百万円等の支出があったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は2,479百万円（前第２四半期連結累計期間は314百万円の収入）となりました。長期借入により2,100百万円、社債の発行により2,000百万円等の資金調達があったものの、短期借入金の返済による4,004百万円、長期借入金の返済による1,743百万円、社債の償還による715百万円等の支出があったことによるものです。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年２月17日の「平成23年12月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期連結業績予想に変更はありませんが、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

## ２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月４日）および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月４日）を適用しております。

## ３．四半期連結財務諸表

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年12月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,912 | 4,531 |
| 受取手形及び売掛金 | 9,580 | 10,299 |
| 商品及び製品 | 4,255 | 3,645 |
| 仕掛品 | 862 | 911 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,909 | 2,885 |
| 未収還付法人税等 | 304 | 155 |
| その他 | 1,700 | 2,050 |
| 貸倒引当金 | △43 | △36 |
| 流動資産合計 | 26,481 | 24,443 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 9,495 | 9,302 |
| 機械装置及び運搬具 | 22,790 | 23,964 |
| 工具、器具及び備品 | 3,696 | 3,745 |
| 土地 | 1,275 | 1,276 |
| リース資産 | 851 | 848 |
| 建設仮勘定 | 674 | 819 |
| 減価償却累計額 | △25,878 | △26,579 |
| 有形固定資産合計 | 12,905 | 13,377 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 2,447 | 2,319 |
| その他 | 887 | 678 |
| 無形固定資産合計 | 3,335 | 2,998 |
| 投資その他の資産 | 4,711 | 5,037 |
| 固定資産合計 | 20,952 | 21,413 |
| 繰延資産 | 63 | 82 |
| 資産合計 | 47,497 | 45,939 |

（単位：百万円）

| | 前連結会計年度<br>（平成23年12月31日） | 当第２四半期連結会計期間<br>（平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 3,397 | 3,451 |
| 短期借入金 | 20,824 | 16,926 |
| 未払法人税等 | 180 | 379 |
| その他 | 6,211 | 5,301 |
| 流動負債合計 | 30,613 | 26,058 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 1,050 | 2,700 |
| 長期借入金 | 6,357 | 7,566 |
| 退職給付引当金 | 716 | 711 |
| その他 | 1,572 | 1,372 |
| 固定負債合計 | 9,697 | 12,350 |
| 負債合計 | 40,310 | 38,408 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 7,216 | 7,216 |
| 資本剰余金 | 7,029 | 7,029 |
| 利益剰余金 | 6,871 | 6,901 |
| 自己株式 | △1,524 | △1,524 |
| 株主資本合計 | 19,593 | 19,623 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 23 | 26 |
| 為替換算調整勘定 | △12,914 | △12,671 |
| その他の包括利益累計額合計 | △12,890 | △12,644 |
| 少数株主持分 | 483 | 551 |
| 純資産合計 | 7,186 | 7,530 |
| 負債純資産合計 | 47,497 | 45,939 |

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 27,140 | 25,721 |
| 売上原価 | 21,715 | 20,945 |
| 売上総利益 | 5,424 | 4,776 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 運賃及び荷造費 | 315 | 287 |
| 従業員給料及び手当 | 1,465 | 1,521 |
| 減価償却費 | 137 | 125 |
| 研究開発費 | 538 | 581 |
| その他 | 1,687 | 1,509 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 4,145 | 4,026 |
| 営業利益 | 1,279 | 750 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 19 | 12 |
| 受取配当金 | 60 | 0 |
| 為替差益 | 138 | － |
| デリバティブ評価益 | 10 | 39 |
| その他 | 35 | 21 |
| 営業外収益合計 | 264 | 73 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 268 | 322 |
| 為替差損 | － | 57 |
| その他 | 66 | 69 |
| 営業外費用合計 | 335 | 450 |
| 経常利益 | 1,208 | 373 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 21 | 217 |
| 減損損失戻入益 | 74 | － |
| 受取保険金 | － | 127 |
| その他 | 2 | 3 |
| 特別利益合計 | 98 | 348 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除売却損 | 9 | 29 |
| 事業構造改善費用 | 167 | 69 |
| 特別役員退職慰労金 | － | 315 |
| 災害による損失 | 51 | 121 |
| その他 | 13 | 40 |
| 特別損失合計 | 242 | 576 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,064 | 144 |
| 法人税等 | 343 | △20 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 721 | 165 |
| 少数株主利益 | 29 | 39 |
| 四半期純利益 | 691 | 126 |

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第２四半期連結累計期間<br>(自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日) | 当第２四半期連結累計期間<br>(自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日) |
|---|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 721 | 165 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | 3 |
| 為替換算調整勘定 | 670 | 243 |
| その他の包括利益合計 | 672 | 246 |
| 四半期包括利益 | 1,394 | 411 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 1,364 | 372 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 29 | 39 |

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

| | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 1,064 | 144 |
| 減価償却費 | 1,084 | 1,145 |
| のれん償却額 | 149 | 138 |
| 受取利息及び受取配当金 | △80 | △13 |
| 支払利息 | 268 | 322 |
| 為替差損益（△は益） | △0 | △0 |
| 投資有価証券売却損益（△は益） | △0 | － |
| 事業構造改善費用 | 167 | 69 |
| デリバティブ評価損益（△は益） | △10 | △39 |
| 減損損失戻入益 | △74 | － |
| 売上債権の増減額（△は増加） | △1,060 | △687 |
| たな卸資産の増減額（△は増加） | △707 | 649 |
| 仕入債務の増減額（△は減少） | △108 | 33 |
| その他 | △198 | △213 |
| 小計 | 496 | 1,551 |
| 利息及び配当金の受取額 | 80 | 13 |
| 利息の支払額 | △256 | △297 |
| 法人税等の支払額又は還付額（△は支払） | △210 | △21 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 108 | 1,245 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の払戻による収入 | 20 | 28 |
| 定期預金の預入による支出 | △15 | △3 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △1,184 | △1,582 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 202 | 475 |
| 投資有価証券の売却による収入 | 21 | 0 |
| 関係会社株式の取得による支出 | △54 | △0 |
| 貸付金の回収による収入 | 1 | 0 |
| その他 | △151 | △126 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,160 | △1,208 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額（△は減少） | 782 | △4,004 |
| 長期借入れによる収入 | 2,700 | 2,100 |
| 長期借入金の返済による支出 | △1,236 | △1,743 |
| 社債の発行による収入 | － | 2,000 |
| 社債の償還による支出 | △1,580 | △715 |
| 配当金の支払額 | △326 | △96 |
| その他 | △24 | △19 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | 314 | △2,479 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 186 | 67 |
| 現金及び現金同等物の増減額（△は減少） | △550 | △2,374 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 7,275 | 6,851 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 6,725 | 4,477 |

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
（セグメント情報）
前第２四半期連結累計期間（自平成23年１月１日 至平成23年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---|---|---|---|
| | アジア・パシフィック事業 | ＥＵ事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 17,052 | 10,088 | 27,140 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 494 | 570 | 1,064 |
| 計 | 17,546 | 10,658 | 28,205 |
| セグメント利益 | 1,466 | 871 | 2,338 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 2,338 |
| 全社費用（注） | △1,058 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 1,279 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
注記すべき事項はありません。

当第２四半期連結累計期間（自平成24年１月１日 至平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

| | 報告セグメント | | 合計 |
|---|---|---|---|
| | アジア・パシフィック事業 | ＥＵ事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 16,848 | 8,872 | 25,721 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | 352 | 558 | 910 |
| 計 | 17,201 | 9,431 | 26,632 |
| セグメント利益 | 1,183 | 713 | 1,897 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

| 利益 | 金額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 1,897 |
| 全社費用（注） | △1,147 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 750 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
注記すべき事項はありません。

## ４．補足情報

設備投資、減価償却費、研究開発費の実績値

（単位：百万円）

| 区分 | 前第２四半期連結累計期間<br>（自　平成23年１月１日<br>至　平成23年６月30日） | 当第２四半期連結累計期間<br>（自　平成24年１月１日<br>至　平成24年６月30日） |
|---|---|---|
| 設備投資 | 1,184 | 1,607 |
| 減価償却費 | 1,084 | 1,145 |
| 研究開発費 | 538 | 581 |